

きこえとことば通信

令和7年10月号
小金井第二小学校
こだま学級
Tel.042-385-3327

10月に入り、過ごしやすい気候になってきました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われますが、皆さんはどんな秋を楽しんでいますか？一人一人実りのある秋にしていきたいものです。

二小では、運動会直前ということもあり、一生懸命に練習に取り組んでいる児童の姿をよく見かけます。他校でも、秋の運動会を控えている子は、通級した際に練習しているダンスの踊りや運動会の目標を話してくれます。気持ちや思いを表現し、友達と力を合わせることで、自分の役割を果たす経験を重ね、成長の機会にしてほしいです。こだま学級でも、練習や本番への取り組みについて話題にし、一緒に喜んだり、悔しがったりして、子供たちの気持ちに寄り添う時間を大切にしていきたいと思います。

2学期 保護者会のお知らせ

- 日時：10月23日（木）
10：00～11：30
- 場所：こだま学級プレイルーム
- 講師：図書館司書、ノエル工房代表
和中 恵子 先生
- 講演内容
「本を楽しむ」
～豊かな心と言葉を育むために～

出欠のご変更がありましたら、お知らせください。

全体グループ学習について

- 日時：12月3日（水）
15：15～16：30
（受付 15：00～）

- 場所：二小 体育館

全体グループ学習は、こだま学級に通っている子供たち同士が交流できる数少ない機会です。友達と相談したり、協力したりしながら楽しく活動します。

☆ご参加をお待ちしております☆

《 10～12月の予定 》

<u>10月</u>	13日（月）	スポーツの日
	18日（土）	二小運動会
	20日（月）	二小振替休日 ※通級なし
	23日（木）	2学期 保護者会
<u>11月</u>	3日（月）	文化の日
	15日（土）	二小展覧会
	17日（月）	二小振替休日 ※通級なし
	24日（月）	振替休日
<u>12月</u>	2日（火）	2学期 個別指導終了
	3日（水）	全体グループ学習 15：15～16：30
	10日（水）	吃音グループ学習 15：15～16：30
	17日（水）	きこえグループ学習 15：15～16：30



*出張などで、通級がお休みになることがあります。各担当と通級日時をご確認ください。

きつおん 今の特集 ～吃音について～

吃音とは

吃音(きつおん=どもること)は、言葉がうまく出てこないことから生じるコミュニケーションの困難さです。吃音の主な症状は次の3つです。

くり返し(連発)

「あ、あ、あ、ありがとう」

引き伸ばし(伸発)

「あ————りがとう」

ブロック(難発)

「……………っありがとう」

吃音がなぜ起こるのか、そのしくみは、完全には分かっていません。

しかし、親の育て方や子供の性格などは吃音の発症に関係しないことは明らかになっています。

吃音が自然に消えていくのか、それとも長く続くことになるかは予測不可能です。

ですから、「吃音が残っても困らないように」と考え、対応していくことが今できる最良の取り組みです。

吃音の人への接し方

吃音は氷山に例えられます。表に出ている吃音の症状は氷山の一角にすぎません。本当の大きな問題・悩みは水面下の見えないところにある、どもることへの不安の感情や、話すことから逃げようとする行動だとされています。こうした問題・悩みを小さくするには、聞き手や周りの対応がとても大切になってきます。

《 よい対応 》

- 話をじっくり・最後まで聞く。
- がんばっているプロセスをほめる。
- 吃音以外のよいところに目を向け自信を育てる。
- 話す内容に注目する。

↓
「どもっても大丈夫！」という
前向きな気持ちを育てます！

《 よくない対応 》

- × 「ゆっくり」「落ち着いて」や言い直しをさせるなど話し方のアドバイスをする。
- × 話し方に注目しすぎる。
- × 先回りして言葉を言う。

↓
言いたいことが思ったように言えず、
自己肯定感が下がってしまいます。

一人でも多くの方が、吃音について正しく理解することが大切です！

こんな時どうしよう ～学校行事～

吃音のある子にとって、不安や困難が大きい活動の一つに、学芸会や学習発表会などの学校行事があります。学校行事での困難には、劇などの決まったセリフを言うこと、体育館や校庭など広い会場で大きな声で言うことなどがあります。また、子供の普段の様子や吃音のことを知らない他のクラスや学年、保護者などから吃音のことを指摘されることもあります。

そんな中で、以下のような支援を受けながら、一生懸命に取り組むことを通じて、達成感や自己肯定感を積み重ねたり、吃音の困難を乗り越えたりする子供もいます。

目標の確認

- ・上手に言うことに価値を置きすぎない
- ・本番に向けた練習の積み重ねを重視する

さまざまな役割

- ・発話量や発話方法など、さまざまなタイプの役割を用意する

発話方法の工夫

- ・言いやすい言葉やスピードで吃音になりにくい話し方をする
- ・複数人で一緒に言う

配慮の相談

- ・子供と保護者、子供と担任など、相談する機会を設ける
- ・個別に練習できる機会を設ける